項 目

主要施策·成果·予算執行実績

1. 総 括

平成20年4月から75歳以上と65歳以上で障害認定を受けた者が加入する新しい医療保険制度として始まり、12年が経過した。制度廃止の方向で検討が進められた時期もあったが、十分に制度が定着していることから現行制度を基本とし、必要な改善を行っていく方向で進められている。また、国保制度の大きな改正が実現し、平成30年度より国保の財政運営主体が都道府県となった。

事業の運営は、各都道府県単位で全市町村が加入する広域連合を設立し、そこで行われているが、各市町村は広域連合で賦課した保険料の徴収、収納業務及び給付、資格関係の受付等窓口業務を行った。

歳入としては、北海道後期高齢者医療広域連合で賦課し、町が徴収業務を担い、広域連合に納付する保険料について、普通徴収分が29,424千円、特別徴収分が38,797千円で現年分の収納率は99.76%、一般会計からの繰入金が30,715千円で、このうち保険基盤安定繰入金22,639千円は収納した保険料同様、運営保険者である広域連合へ負担金として納付した。そのほかの歳出としては、事務担当者の人件費及び事務諸経費で8,076千円、広域連合へ事務諸経費相当分として納める事務費負担金が2,824千円となった。

2. 保険料の 状 況

1. 保険料率

区 分	税率等
均等割 (一人当たりの額)	50, 205円
所得割 (本人の所得に応じた額)	(所得-33万円)×10.59%
※被用者保険の被扶養者だった場合の激変緩和措置	所得に関わらず 年額25,102円 (R01に限る)

2. 保険料収納状況

(1) 普通徴収分

() 前年度

区分	現 年 度 分	滞納繰越分	計
調定額	(28, 939, 800)	(68, 300)	(29, 008, 100)
	29,622,200円	388, 400円	30,010,600円
収納額	(28, 594, 300)	(68, 300)	(28, 662, 600)
収納額	29, 424, 400円	301, 700円	29, 726, 100円
未収額	(345, 500)	(0)	(345, 500)
	197,800円	86, 700円	284,500円
収 納 率	(98. 81)	(100.0)	(98. 81)
	99. 33%	77. 68%	99.05%

(2)特別徴収分 ()前年度

区 分	現年度分
調定額	(37, 117, 400) 38, 762, 000円
収納額	(37, 118, 300) 38, 797, 300円
未収額	(0) 0円
収納率	(100. 00) 100. 09%